

## 上部消化管内視鏡検査（胃カメラ）

### <検査の目的>

いわゆる胃カメラを用いて食道、胃、十二指腸の病気（炎症、潰瘍、ポリープ、がんなど）を診断し、適切な治療方針を立てることが目的です。

X線検査（バリウム）に比べて小病変の発見や性状の診断に優れています。

### <検査方法>

当院では鼻から挿入できる細い経鼻内視鏡を使用します。通常は鼻から挿入しますが、鼻の手術をされている方や鼻腔が狭い方、ご希望があれば口から行うことも可能です。

食道、胃、十二指腸まで観察し、検査時間は5～10分程度です。必要な場合には病変部から小さな組織を採取し（生検）、顕微鏡で良性か悪性かなどを診断する病理組織検査を行います（結果は2週間弱かかります）。

### <検査の手順>

- ・ 検査前夜 夕食は前日夜8時までにお済ませください。
- ・ 検査当日
  - ① 朝食は召し上がらずに来院されてください。検査2時間前までは水や透明な清涼飲料水は飲んでも構いません。コーヒーや牛乳、ジュースはお止めください。
  - ② 検査室にご案内します。はじめに胃の中をきれいにするお薬を飲んで頂きます。
  - ③ 鼻に局所麻酔をします。
  - ④ のどにも局所麻酔をし、検査開始です。検査時間は5～10分程度です。
  - ⑤ 検査後はのどの麻酔が切れるまで、約1時間は飲食できません。1時間ほどしたら、まず水を飲んでみてむせないようでしたらお食事できます。

### <注意点>

- ① 心臓病、高血圧、てんかんのお薬をお飲みの方は、検査の2時間前までに内服してください。
- ② 薬のアレルギー（特にキシロカイン）がある方は、事前にお申し出ください。
- ③ 糖尿病のお薬は内服しないでください。

- ④ 血が固まりにくくするお薬（ワーファリン、プラビックス、アスピリン等）を内服中の方は事前にご相談ください。
- ⑤ 鼻から検査を行った場合、まれに検査後に鼻出血をすることがあります。殆どは圧迫などで止血可能です。
- ⑥ 生検を行った場合は、出血予防のために当日の飲酒はできません。

<検査に伴う偶発症の可能性および危険性・その他>

- ① 鼻腔・咽頭の局所麻酔でアレルギー反応を起こすことがまれにあります。
- ② 内視鏡の接触のために鼻腔・咽頭に違和感を感じる方がいます（通常1～2日以内で消失します）。
- ③ 検査後に腹部膨満感を感じる方がいます（通常数時間で消失します）。
- ④ 鼻から検査した場合に、鼻出血が起こることがあります。
- ⑤ 生検した場合、その部から出血することがあります。当日の飲酒はできません。黒色便などの症状がある方はご連絡ください。

ご不明な点をご遠慮なくお申し出ください。



駒沢公園内科クリニック

KOMAZAWA PARK MEDICAL CLINIC